

< 調査のあらまし >

1. 調査の目的

この調査は、県政に対する県民の関心、意見、要望、評価などをとらえ、県行政の推進を図るうえで必要な基礎的資料を得るために実施したものである。

2. 調査の項目

- | | |
|------------------------------|------------------|
| (1) 生活意識 | (6) 救急医療 |
| (2) 茨城県産の農林水産物 | (7) 治安に関する意識 |
| (3) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 | (8) 茨城県民の郷土愛 |
| (4) 少子化対策 | (9) 広報活動 |
| (5) がん対策 | (10) 茨城県に対する成長期待 |
| | (11) 県政への要望 |

3. 調査の設計

- | | |
|------------|----------------------|
| (1) 調査地域 | 茨城県全域 |
| (2) 調査対象 | 県内に居住する満18歳以上の男女個人 |
| (3) 標本数 | 3,000人 |
| (4) 抽出方法 | 住民基本台帳等からの層化二段無作為抽出法 |
| (5) 調査方法 | 往復郵送法 |
| (6) 調査時期 | 令和元年6月24日～7月10日 |
| (7) 調査実施機関 | 株式会社 マーケティングリサーチサービス |

4. 回収結果

有効回収数 (率)	1,798 (59.9%)
-----------	---------------

5. 報告書の見方

本報告書を読む際には、次の点に留意してください。

1. 比率はすべて百分率で計算し、小数点以下第2位を四捨五入して計算した。このために、百分比の合計が100%にならないことがある。
2. 基数となるべき実数はnとして掲載した。その比率は件数を100%として計算した。
3. 1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
4. 図表・本文では、スペースの都合等により回答選択肢を省略して表記している場合がある。
5. クロス集計では、分析軸の「無回答」を掲載していないため、分析軸における各項目のnの合計値と全体の数値とが合わない場合がある。
6. クロス集計時に、nが小さい数字になる場合は統計的誤差が生じる可能性が高いので注意が必要である。
7. この調査の標本誤差は次の式によって得られる。ただし、信頼度を95%とする。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数（茨城県の18歳以上人口）
 n = 比率算出の基数（回答者数）
 p = 回答の比率（%）

今回の調査結果の標本誤差は下記のようになる。

回答比率 (p) 回答者数 (n)	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1,798	± 2.00%	± 2.67%	± 3.06%	± 3.27%	± 3.33%
1,500	± 2.19%	± 2.92%	± 3.35%	± 3.58%	± 3.65%
1,000	± 2.68%	± 3.58%	± 4.10%	± 4.38%	± 4.47%
500	± 3.79%	± 5.06%	± 5.80%	± 6.20%	± 6.32%
300	± 4.90%	± 6.53%	± 7.48%	± 8.00%	± 8.16%
100	± 8.49%	± 11.31%	± 12.96%	± 13.86%	± 14.14%

※ 上表は $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

〈注／この表の見方〉

例えば、「ある設問の回答者数が1,798人であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも± 3.27%以内（56.73～63.27%）である」とみることができる。

< 調査対象の属性 >

【地域】	(n)	(%)	0 10 20 30 40 (%)
県北	398	22.1	22.1
県央	278	15.5	15.5
鹿行	163	9.1	9.1
県南	603	33.5	33.5
県西	335	18.6	18.6
無回答	21	1.2	1.2
【市郡】	(n)	(%)	0 20 40 60 80 100 (%)
人口10万人以上の市	820	45.6	45.6
人口5万人以上の市	494	27.5	27.5
人口5万人未満の市 (市部 計)	307 1,621	17.1 90.2	17.1 90.2
郡部	156	8.7	8.7
無回答	21	1.2	1.2
【性別】	(n)	(%)	0 10 20 30 40 50 60 (%)
男性	785	43.7	43.7
女性	981	54.6	54.6
無回答	32	1.8	1.8
【年齢】	(n)	(%)	0 10 20 30 40 50 (%)
18～19歳	14	0.8	0.8
20～29歳	145	8.1	8.1
(18～29歳 計)	159	8.8	8.8
30～39歳	222	12.3	12.3
40～49歳	266	14.8	14.8
50～59歳	308	17.1	17.1
60～64歳	196	10.9	10.9
65～69歳	217	12.1	12.1
70歳以上	409	22.7	22.7
(60歳以上 計)	822	45.7	45.7
無回答	21	1.2	1.2
【職業】	(n)	(%)	0 10 20 30 40 50 (%)
農林漁業	74	4.1	4.1
商工サービス業	189	10.5	10.5
自由業	99	5.5	5.5
管理職	103	5.7	5.7
事務職・専門技術職	437	24.3	24.3
労務職	119	6.6	6.6
学生	37	2.1	2.1
主婦・主夫(勤めについていない)	361	20.1	20.1
その他の無職	325	18.1	18.1
(自営・家族従業 計)	362	20.1	20.1
(被傭者 計)	659	36.7	36.7
(無職 計)	723	40.2	40.2
無回答	54	3.0	3.0
【居住年数】	(n)	(%)	0 20 40 60 80 (%)
5年未満	51	2.8	2.8
5～9年	33	1.8	1.8
(9年以下 計)	84	4.7	4.7
10～19年	115	6.4	6.4
20～29年	254	14.1	14.1
30年以上	1,321	73.5	73.5
無回答	24	1.3	1.3

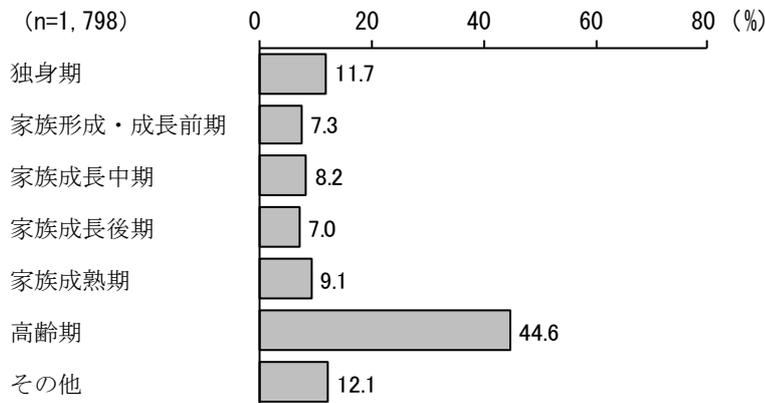
【出身県】	(n)	(%)	0	20	40	60	80 (%)	
茨城県	1,268	70.5						70.5
茨城県外	494	27.5						27.5
無回答	36	2.0						2.0
【家族構成】	(n)	(%)	0	10	20	30	40	50 (%)
独身	364	20.2						20.2
子どものいない夫婦	114	6.3						6.3
末子が小学校入学前の子どもの親	135	7.5						7.5
末子が小学生の子どもの親	95	5.3						5.3
末子が中学生の子どもの親	53	2.9						2.9
末子が高校・大学・大学院生の子どもの親	125	7.0						7.0
末子が教育終了し、就職または結婚した子どもの親	700	38.9						38.9
その他	153	8.5						8.5
無回答	59	3.3						3.3
【同居している子どもの有無】	(n)	(%)	0	10	20	30	40	50 (%)
小学校入学前の子ども	130	7.2						7.2
小学校在学中の子ども	131	7.3						7.3
中学校在学中の子ども	88	4.9						4.9
高校在学中の子ども	89	4.9						4.9
大学・大学院在学中の子ども	62	3.4						3.4
学校を終えた未婚の子ども	327	18.2						18.2
結婚した子ども	144	8.0						8.0
同居している子どもはいない	378	21.0						21.0
子どもはいない	337	18.7						18.7
無回答	296	16.5						16.5
【新聞の購読】	(n)	(%)	0	20	40	60	80 (%)	
購読している	1,104	61.4						61.4
購読していない	653	36.3						36.3
無回答	41	2.3						2.3
【インターネット利用環境の有無】	(n)	(%)	0	20	40	60	80	100 (%)
ある	1,477	82.1						82.1
ない	168	9.3						9.3
パソコンやスマートフォン等を持っていない	121	6.7						6.7
無回答	32	1.8						1.8

【ライフステージの設定】

本調査の対象者の年齢構成は3ページにあるとおりだが、県民の意識は家族構成、特に、子どもの成長段階によって異なると考えられる。そこで、末子の成長段階を分類の中心とし、ライフステージとして下記のとおり6分類した。

1. 独身期…39歳までの独身者
2. 家族形成・成長前期…39歳までの夫婦だけの世帯、及び末子が6歳未満の世帯
3. 家族成長中期…末子が小・中学生の世帯
4. 家族成長後期…末子が高校・大学生の世帯
5. 家族成熟期…59歳までの夫婦で、末子が教育終了している世帯
6. 高齢期…60歳以上で、上記分類に該当しない人
7. その他…上記1～6以外の人

ライフステージ構成



< 標本抽出法 >

母集団 : 茨城県の市町村に居住する18歳以上の男女個人
 標本数 : 3,000
 地点数 : 市部 181地点
 町村 19地点
 計 200地点
 抽出法 : 層化二段無作為抽出法

〔層化〕

1. 県内の市町村を、市または郡を単位として、次の5地域に分類した。

県北	日立市, 常陸太田市, 高萩市, 北茨城市, ひたちなか市, 常陸大宮市, 那珂市, 那珂郡, 久慈郡
県央	水戸市, 笠間市, 小美玉市, 東茨城郡
鹿行	鹿嶋市, 潮来市, 神栖市, 行方市, 鉾田市
県南	土浦市, 石岡市, 龍ヶ崎市, 取手市, 牛久市, つくば市, 守谷市, 稲敷市, かすみがうら市, つくばみらい市, 稲敷郡, 北相馬郡
県西	古河市, 結城市, 下妻市, 常総市, 筑西市, 坂東市, 桜川市, 結城郡, 猿島郡

2. 各地域内においては、さらに市郡規模によって次のように分類した。

- ・人口10万人以上の市
- ・人口5万人以上の市
- ・人口5万人未満の市
- ・郡 部

(注) ここでいう市とは、平成31年4月1日現在市制施行の地域をさす。

〔標本数の配分〕

各地域・市郡規模別の層における18歳以上の人口（平成31年4月1日現在の推定数）より、1つの調査地点の標本数が15人程度になるように調査地点の数を決定し、3,000の標本を比例配分した。

〔抽 出〕

1. 調査地点は、平成27年国勢調査時に設定された調査区を基本単位として使用した。
2. 調査地点の抽出は、調査地点が2地点以上割当てられた層については、

$$\frac{\text{層における調査区数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔}$$

を算出し、等間隔抽出法によって該当番目が含まれる調査区を抽出して抽出の基点とした。

3. 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、総務省設定の市区町村コードに従った。
4. 調査地点における対象者は、住民基本台帳及び選挙人名簿により、抽出の基点から等間隔抽出法によって抽出した。

各地域・市郡規模別（層別）標本数・調査地点数

地域	摘 要	人口10万人以上の市	人口5万人以上の市	人口5万人未満の市	郡部(町村)	計
県北	推定母集団	280,907	43,447	140,449	44,966	509,769
	標本数	349	56	172	56	633
	地点数	23	4	12	4	43
県央	推定母集団	221,672	63,547	41,831	57,760	384,810
	標本数	276	79	52	72	479
	地点数	18	5	4	5	32
鹿行	推定母集団	0	135,736	93,074	0	228,810
	標本数	0	169	116	0	285
	地点数	0	11	8	0	19
県南	推定母集団	391,942	294,051	70,445	73,894	830,332
	標本数	487	366	88	92	1,033
	地点数	32	24	6	6	68
県西	推定母集団	204,834	137,593	70,069	45,718	458,214
	標本数	255	171	87	57	570
	地点数	17	11	6	4	38
総数	推定母集団	1,099,355	674,374	415,868	222,338	2,411,935
	標本数	1,367	841	515	277	3,000
	地点数	90	55	36	19	200

< 調査地点一覧 >

地域	都市規模	調査対象地点	対象数	地域	都市規模	調査対象地点	対象数	
県北	十万人以上の市	日立市弁天町2丁目	15	県央	十万人以上の市	水戸市東原2丁目	15	
		日立市宮田町2丁目	15			水戸市下大野町	15	
		日立市中成沢町4丁目	15			水戸市石川2丁目	15	
		日立市本宮町2丁目	15			水戸市新原1丁目	16	
		日立市中深荻町	15			水戸市鯉淵町	16	
		日立市河原子町3丁目	15			水戸市双葉台2丁目	15	
		日立市千石町2丁目	15			水戸市上国井町	15	
		日立市相田町3丁目	16			笠間市大字平町	16	
		日立市金沢町1丁目	15		笠間市大字仁古田	16		
		日立市大沼町1丁目	15		笠間市大字安居	15		
		日立市水木町2丁目	15		笠間市下市毛	16		
		日立市大みか町2丁目	15		笠間市石井	16		
		日立市大みか町6丁目	15		未満の市	小美玉市大字堅倉	13	
		日立市十王町友部	16			小美玉市大字小川	13	
		ひたちなか市大字中根	16			小美玉市大字野田	13	
		ひたちなか市大成町	15			小美玉市大字羽鳥	13	
		ひたちなか市勝田本町	15		郡部	東茨城郡茨城町大字小幡	15	
		ひたちなか市大字田彦	15			東茨城郡茨城町大字上石崎	14	
		ひたちなか市大字東石川	16			東茨城郡大洗町五反田	14	
		ひたちなか市大字佐和	15			東茨城郡城里町大字石塚	15	
	ひたちなか市大字高野	15	東茨城郡城里町大字下坏	14				
	ひたちなか市新光町	15	鹿行	五万人以上の市	鹿嶋市鉢形台2丁目	16		
	ひたちなか市釈迦町	15			鹿嶋市宮下5丁目	15		
	上の市	那珂市竹ノ内2丁目			14	鹿嶋市大字大小志崎	15	
		那珂市後台			14	鹿嶋市港ヶ丘1丁目	15	
		那珂市中里			14	鹿嶋市大字木滝	16	
		那珂市額田南郷			14	神栖市石神	16	
		五万人未満の市			常陸太田市木崎二町	15	神栖市知手	15
	常陸太田市上河合町				14	神栖市横瀬	16	
	常陸太田市幡町四季の丘・はたそめ東				14	神栖市深芝南1丁目	15	
	常陸太田市東連地町				14	神栖市太田	15	
	高萩市大字島名			15	神栖市矢田部	15		
	高萩市有明町1丁目			14	五万人未満の市	潮来市潮来	15	
	北茨城市磯原町磯原1丁目			15		潮来市日の出1丁目	14	
	北茨城市中郷町松井			14		行方市麻生	14	
	北茨城市関本町関本上			14		行方市玉造甲	15	
	常陸大宮市栄町			15		行方市北高岡	14	
	常陸大宮市八田	14		鉾田市大字安房		15		
	常陸大宮市国長	14		鉾田市大字飯島		14		
	郡部	那珂郡東海村大字石神外宿		14		鉾田市大字大戸	15	
		那珂郡東海村東海2丁目		14				
		那珂郡東海村大字須和間	14					
		久慈郡大子町大字上野宮	14					
	県央	十万人以上の市	水戸市城南2丁目	15				
			水戸市米沢町	15				
水戸市根本1丁目			15					
水戸市柵町2丁目			15					
水戸市酒門町			16					
水戸市吉沢町			16					
水戸市見川町			16					
水戸市見川4丁目			15					
水戸市五軒町1丁目			15					
水戸市平須町			16					
水戸市見和3丁目			15					

地域	都市規模	調査対象地点	対象数	地域	都市規模	調査対象地点	対象数	
県南	十万人以上の市	土浦市港町1丁目	15	県南	五万人以上の市	つくばみらい市大字谷口	16	
		土浦市桜ヶ丘町	16			つくばみらい市大字西丸山	15	
		土浦市北荒川沖町	15			つくばみらい市大字筒戸	15	
		土浦市乙戸南3丁目	15		五万人未満の市	稲敷市高田	15	
		土浦市中高津1丁目	15			稲敷市佐倉	15	
		土浦市大手町	15			稲敷市甘田	14	
		土浦市下坂田	15			かすみがうら市下土田	14	
		土浦市板谷3丁目	15			かすみがうら市下稲吉	15	
		土浦市おおつ野6丁目	15		かすみがうら市宍倉	15		
		土浦市神立町	16		郡部	稲敷郡美浦村大字土屋	15	
		取手市駒場2丁目	15			稲敷郡阿見町中央3丁目	15	
		取手市青柳1丁目	15			稲敷郡阿見町住吉1丁目	15	
		取手市白山3丁目	15			稲敷郡阿見町岡崎1丁目	16	
		取手市米ノ井	16			稲敷郡河内町生板	15	
		取手市上高井	15			北相馬郡利根町大字羽根野	16	
		取手市宮和田	16			十万人以上の市	古河市柳橋	15
		取手市清水	15		古河市大堤		15	
		つくば市研究学園7丁目	15		古河市東牛谷		15	
		つくば市春日2丁目	16		古河市大山		15	
		つくば市島名	16		古河市鴻巣		15	
		つくば市花畑1丁目	15		古河市中心町3丁目		15	
		つくば市天久保1丁目	15		古河市北町		15	
		つくば市竹園3丁目	15		古河市東3丁目		15	
		つくば市二の宮3丁目	15		古河市駒込		15	
		つくば市榎戸	15		古河市東山田清水		15	
		つくば市水堀	15		筑西市直井		15	
		つくば市田中	15		筑西市布川		15	
	つくば市小田	15	筑西市伊佐山	15				
	つくば市吉瀬	15	筑西市岡芹	15				
	つくば市観音台1丁目	16	筑西市新治	15				
	つくば市小荃	15	筑西市海老ヶ島	15				
	つくば市境田	15	筑西市井上	15				
	五万人以上の市	石岡市石岡2丁目	15	県西	五万人以上の市		結城市富士見町4丁目	15
		石岡市東石岡3丁目	16				結城市大字中	15
		石岡市府中3丁目	15				結城市大字田間田間上	16
		石岡市池の台	15			結城市新福寺五丁目	16	
		石岡市須釜	15			常総市大生郷新田町	16	
		石岡市宇治会	15			常総市新井木町	15	
		龍ヶ崎市下町	16			常総市新石下	16	
		龍ヶ崎市川原代町	15			常総市古間木新田	15	
		龍ヶ崎市長山1丁目	15			坂東市岩井	16	
		龍ヶ崎市平台1丁目	15			坂東市長谷	16	
		龍ヶ崎市城ノ内3丁目	15		坂東市菅谷	15		
		牛久市神谷3丁目	15		五万人未満の市	下妻市字栗山	15	
		牛久市南5丁目	16			下妻市平方	15	
		牛久市田宮町	16			下妻市肘谷	14	
		牛久市上柏田4丁目	15			桜川市羽田	14	
牛久市正直町		15	桜川市真壁町飯塚			15		
牛久市ひたち野西4丁目		15	桜川市池亀			14		
守谷市松前合一丁目		15	郡部			結城郡八千代町大字沼森	14	
守谷市百合ヶ丘二丁目		16			猿島郡五霞町大字川妻	14		
守谷市小山		15			境町境町本船町	14		
守谷市けやき台三丁目	15	境町境町大字下小橋		15				